



日本アルミット社長
澤村 経夫

さわむら・つねお 昭和3年和歌山県生まれ。31年会社設立、アルミニウム用ハンダを実用化。51年非塩素系高性能や入りハンダ「KR-19」開発。米国航空会社や、スペースシャトルに採用される。経営の傍ら詩人として南紀文学、紀南詩集を主宰。著書に「KR-19」熊野の謎と伝説などがある。

経営は 四季の連続である



シロキ技研社長
白木 学

しらぎ・まなぶ 昭和22年岐阜県生まれ。47年東京理科大学卒業。恩師のもとで研究活動を経て、51年シロキ技研設立、社長に就任。平成6年米インテル社よりファンモーターを受注し、飛躍のきっかけに。11年工学博士号取得。16年東証マザーズに上場。著書に「誰もやらない。だからやる」がある。

日本には、優れた技術開発により世界の舞台で活躍する優良企業が多数ある。アメリカのNASAや航空各社でも採用されるハンダを開発した澤村経夫氏と、モーターの小型化で世界のトップを走り続ける白木学氏。ともに世の中になにものにも挑戦し、開発の苦闘、経営の浮沈という様々な季節を乗り越え、見事に成長を続けてきたお二人の気概に迫る。

対談 澤村経夫 & 白木学

— 世界初のアルミ用ハンダ

白木 澤村さんにお会いするのはき

ようが初めてですが、御社の製造されるハンダは当社も使わせていただ

います。

澤村 そうですか。それは嬉しいです。白木 本で拝見しましたが、大変品質がよく、NASAをはじめ、世界の

一流企業で多数採用されていると。それから、世界で初めてアルミニウム用のハンダを開発されたのは、御社ですね。

澤村 はい。それまでアルミはハン